

# 第1回 NITS 大賞（平成 29 年度）エントリーシート

福井県立丹生高等学校 山口明彦

A-4

## 【活動名】 研修成果の還元の工夫 ～動画教材を YouTube で配信～

### 解決すべき課題：

- (1) 紙媒体での報告で、還元の効率や効果が低かった。バインダーファイルに閉じられてしまえば、顧みられることがなく、埋もれてしまう。必要に応じて研修成果をすぐ引き出し、活用できるような工夫が課題である。
- (2) 短時間の報告で、研修内容の伝達率が低かった。10～15分程度の報告で、一方的かつ大量の情報伝達では、伝達率が高まらない。また、中央研修の場合、内容が多岐にわたるため、網羅的かつ概略的な報告とならざるを得なかった。被報告者のニーズに沿った報告にするためには、被報告者が主体的かつ個別的に選択して成果を吸収する形態への転換が必要である。
- (3) 校内研修などで還元される可能性が低かった。校長研修の報告は、校長会だけでされることが多かった。他のスクールリーダーや若手教諭にも十分活用できる研修内容も多く、校内研修などでの活用できるような工夫が必要である。

### 目的や背景：

上記3点の解決策として、研修内容をデジタル教材化し、動画配信することを試みた。その目的は、以下のとおりである。

- (1) いつでも、どこでも、どんな端末でも、研修還元内容を視聴することができるようになる。
- (2) 研修報告会1回だけでなく、今後の研修や、各校での校内研修で活用できるようになる。
- (3) 必要に応じて、デジタル教材を再編集して、独自の研修教材を再構成できる。

### 活動内容：

研修終了時に、教員支援機構の職員の方に、本内容について可能かを確認した。快諾を得たので、取り組みを進めた。

作成と伝達の手順は以下の通り。（作成と伝達の手順の詳細は、別添資料参照）

- (1) 研修内容の中から、ぜひ還元したい項目を10項目に絞り込んだ。
- (2) 還元内容をパワーポイントスライドに編集し、そのスライドにナレーションを入れ、動画ファイルに出力した。
- (3) 動画を YouTube に「限定公開」形式でアップロードした。

作成した教材のコンテンツは、以下の通り。

校内研修のヒント集 その1	教育改革の流れを理解する（視聴時間 9分）	<a href="https://youtu.be/volKC5ZIC2k">https://youtu.be/volKC5ZIC2k</a>
校内研修のヒント集 その2	教員の働き方改革について（視聴時間 8分）	<a href="https://youtu.be/1vHUNsqTsDU">https://youtu.be/1vHUNsqTsDU</a>
校内研修のヒント集 その3	人生100年時代構想会議（視聴時間 4分）	<a href="https://youtu.be/d-bDy1r_R6Y">https://youtu.be/d-bDy1r_R6Y</a>
校内研修のヒント集 その4	学校ビジョンを作成する（視聴時間 12分）	<a href="https://youtu.be/S44JVKHuj6M">https://youtu.be/S44JVKHuj6M</a>
校内研修のヒント集 その5	学校組織の特性と発達支援（視聴時間 15分）	<a href="https://youtu.be/zxaiMiy-sog">https://youtu.be/zxaiMiy-sog</a>
校内研修のヒント集 その6	カリキュラムマネジメント（視聴時間 13分）	<a href="https://youtu.be/ltqJhmbMYR8">https://youtu.be/ltqJhmbMYR8</a>
校内研修のヒント集 その7	求められる校長像とその力量（視聴時間 9分）	<a href="https://youtu.be/xJ46lozyCY4">https://youtu.be/xJ46lozyCY4</a>
校内研修のヒント集 その8	「深い学び」とは何なのか（視聴時間 11分）	<a href="https://youtu.be/0_aZmgaZgjl">https://youtu.be/0_aZmgaZgjl</a>
校内研修のヒント集 その10	高校学校における道徳（視聴時間 10分）	<a href="https://youtu.be/Mxhjt0hb9m4">https://youtu.be/Mxhjt0hb9m4</a>

研修成果の伝達は、現時点で3回行った。

- (1) 福井県の県立校長会の研修会で、成果報告として、内容の概要とともに、動画のアドレスやQRコードを伝達した。
- (2) 一緒に研修に参加した、ユニットメンバー（17名）に、動画のアドレスを伝達した。
- (3) 勤務校の職員会議や企画運営会議で、動画の一部を活用し、校内研修を行った。

### 活動の成果：

現時点での、本改善内容の成果は、以下の通り。

- (1) 伝達内容を精選する過程で、内容の核となる部分を自分の中で明確化することができ、研修内容をより深く理解することができた。
- (2) 伝達を受けた複数校の校長や、他県の校長から意見や感想が届き、意見交換や情報共有ができた。  
「現在、学校ビジョン作成に着手したところだったので、『学校ビジョンを作成する』が大変勉強になりました。校内でも共有します。」
- (3) 校内研修等で利用したいとの申し出があり、パワーポイントのスライドデータを送付した。（県内 6件 中央研修参加者3件 12/1現在）  
「さっそく、校内研修会で『深い学び』のスライドと動画を活用させていただきました。若手教員からの反応が良かったです。」
- (4) 校内の若手教員などから、大変勉強になった、教育改革の流れを俯瞰することができた等の感想を得た。  
「いままで“深い学び”が腑に落ちなかったのですが、これから勉強するきっかけをいただいたような気がします。がんばります。」

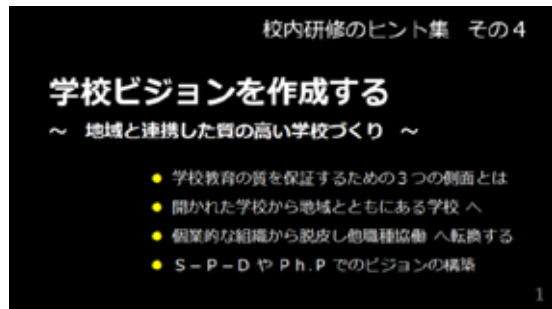
### アピールポイント（アイデア）：

- (1) 動画教材を作成する際、留意した点は以下の3点である。  
視聴時間を8分から15分程度のコンパクトなものにした。  
研修内容が誤って伝わらないよう、研修資料や講義内容にもとづいた内容になるよう注意した。  
アニメーションなどにも工夫して、理解しやすいように工夫した。  
YouTubeへのアップロードは「限定公開」とした。
- (2) 福井県では教員研修の一部をネット研修（通信型研修）で実施している。その研修教材として活用することも、検討中である。
- (3) 今後は、もう一度研修内容を振り返り、さらに伝達、還元すべき内容がないか点検し、既存の教材の改善にも取り組みたい。

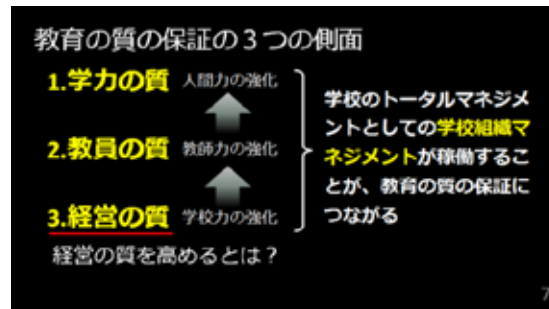
**【添付資料】 作成と伝達の手順 / コンテンツの概要 / 作成時間**

**作成と伝達の手順：**

- ( 1 ) 研修内容の中から、ぜひ還元したい項目を 10 項目に絞り込んだ。
- ( 2 ) 還元内容をパワーポイントスライドに編集し、そのスライドにナレーションを入れ、動画ファイルに出力した。



手順 1 タイトル画面を作成する。



手順 2 内容画面を作成する。



手順 3 ナレーションを録音する。



手順 4 動画にエクスポートする。

**作成上の工夫点**

- (ア) スライドデザインは、研修会場でもスマホやタブレットなどの端末でも見やすいように、黒背景、白文字、メイリオ書体とした。フォントサイズも 28p 以上に統一した。
- (イ) アニメーションなどは極力制限し、シンプルな画面構成とした。
- (ウ) ナレーション内容は、講師の説明内容のメモや配布資料にもとづいた内容とし、極力、製作者の意見や解釈が入らないように心がけた。

- ( 3 ) 動画を YouTube に「限定公開」形式でアップロードした。



手順 1 アップロード画面を開く。



手順 2 動画ファイルをアップする。



手順 3 「限定公開」で公開

**主な教材とその内容の概要：**

<p><b>人生100年時代構想会議</b> ～ 人づくり改革の根底となる超長寿社会のモデルとは ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 超長寿社会を生き抜くことを想定した教育へ</li> <li>● 教育の効果は本人のみならず、社会にも効果が大きい</li> <li>● 人づくり革命は、経済政策の最大の柱である</li> <li>● 人づくり革命は、一億総活躍社会政策の本丸である</li> </ul> <p>超長寿社会を生き抜く力をつけるためには、学校はどうあるべきか。教育の無償化の目的と意義とは。</p>	<p><b>教員の働き方改革について</b> ～ 業務改善に繋ぐ三つの視点とは ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● その業務は、学校が担うべきものか</li> <li>● その業務は、教員が担うべきものか</li> <li>● 組織運営として何に取り組むべきか</li> </ul> <p>教員の働き方改革の背景とは。中教審の緊急提言の内容とは。校長として取り組むべき経営改善策は。</p>	<p><b>学校組織の特性と発達支援</b> ～ 個業からの脱皮とメンタルヘルス ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 個業は学校の組織特性から生み出される</li> <li>● 個業から協働による組織体へ組織を変える</li> <li>● 教員特有の意欲を失う発達過程と無力感</li> <li>● アイデンティティの再体制化への支援</li> </ul> <p>学校特有の個業体制から脱するための意識改革。教員のキャリア形成に重要な発達課題とは何か。</p>
<p><b>カリキュラムマネジメント</b> ～ フレームで理解するカリマネのススメ ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● カリキュラムは学校改善の手段である</li> <li>● カリキュラムは生徒の学びが核となる</li> <li>● カリキュラムは共有されて意味をもつ</li> <li>● 学校改革フレームとなるカリキュラム</li> </ul> <p>学校改善のためには、3つのカリキュラムの改善が必要。カリキュラムデザインに有効な CAPD と Ph.P とは何か。</p>	<p><b>「深い学び」とは何なのか</b> ～ アクティブ・ラーニングの根幹を理解する ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 難解な内容の理解だという誤解</li> <li>● なぜ学びを深めるために対話が必要なのか</li> <li>● 深い学びを、授業でどう見取ればよいか</li> </ul> <p>学びを自らと関連づけるための精緻化戦略とは何か。深い学びのためには、対話による学びの外化が必要。</p>	<p><b>高等学校における道徳</b> ～ 社会適応能力と自己決定力をつける ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 道徳教育をマネジメントする</li> <li>● 道徳でどのような力をつけるか</li> <li>● 新しい時代を生き抜くための道徳</li> <li>● 道徳が生徒指導に役立つ3つの点</li> </ul> <p>社会適応のための自己決定能力の育成方法とは。高度情報化社会や国際化社会を生き抜く視点とは。</p>

**教材作成にかかった時間（1教材あたり）：**

- ( 1 ) パワーポイントのスライド作成 約 3 時間 ( 研修内容のエッセンスのみをコンパクトに構成した。 )
  - ( 2 ) ナレーション録音 約 1 時間 ( 1 スライド 2 分以内でコンパクトに解説した。 )
  - ( 3 ) 動画形式でのエクスポート 約 1 時間
  - ( 3 ) YouTube へのアップロード 約 0.2 時間
- 合計時間 1教材あたり 5 ～ 6 時間